父母の会ニュース

神戸市重度心身障害児(者)父母の会

第210号

発　行: 令和6年1月1日

責任者: 武田　純子
TEL: 078-335-8508
FAX: 078-335-8509
URL: kobe-jyushin.com
E-mail: hubonokai6530@iaa.itkeeper.ne.jp

継続こそ力なり

神戸市重度心身障害児(者)父母の会
会長　武 田　純 子

新年あけましておめでとうございます。

暖冬を覚悟の年明けでしたが、例年通りの冬らしい気配を感じホッとしております。

平素は当会の活動には格別のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

コロナ禍も収束とはいかなくとも社会生活に支障の無い分類になり、マスク無しの光景が街中では当たり前になってきました。

当会は昨年より、会挙げての新規会員キャンペーンを実施しております。

各区の障害者相談支援センターはじめ、各区役所、会員の馴染みの生活介護、就労継続A・B、放課後等デイ、神戸市内支援学校等に直接出向いたり、郵送にて会のリーフレットを配布して新会員の確保に取り組みました。

「じゅうしん父母の会」の存在の必要性を感じる時期はやはり高等部卒業後、どこに相談するかの不安、ご家族の相談が多く、福祉事務所から聞いて、はじめて当会の存在を知るようになった事が今までの方法でした。

新会員のリーフレットを配布する今になって、医療的ケア児を育てるご家族がおられるのに、当会の存在を知らない事を知り、今後この会の存続の為にも、このような新規会員確保の機会は必要であり、その為にも一層魅力ある会に発展していかねばと痛感します。

新規会員の成果は直ぐには出ませんが今後も継続して活動していく事にします。

今年はコロナ禍で見合わせておりました様々な行事の内、「愛のチャリティーバザー」を来る3月3日に「みなとがわホール」で実施することになりました。又11月30日（土）には「ポニー教室50周年記念行事」を神戸市立総合福祉センターで開催する予定です。

何れも会の長寿行事であり、多くの協力者、ボランティア、会員の協力をいただいての積み重ねであり先輩方が今日まで刻んでいただいた「じゅうしん父母の会」の歴史そのものでもあります。

今年は新しい会員を交えながら長年開催してきました歴史ある行事を共に行い、継続且つ継承していく年にしたいと思っております。

今後共、会員ご家族はじめ関係団体の皆さまには益々のご協力と、良きご助言をいただきます様よろしくお願いいたします。

今年も幸多い1年であります事を心より祈念いたします。

令和5年度要望書提出

今年度の対神戸市要望書は、令和５年８月 22 日(火)に市役所会議室で、武田会長以下副会長、各事業担当部長、事務担当の７名がそれぞれ発表の担当を分け、説明する形をとり提出しました。

神戸市からは福祉局障害福祉課川畑課長、障害福祉課事業企画担当山下課長、白木係長、障害者支援課自立支援事業担当山添課長、上野係長に出席いただきました。

項目ごとに現状説明を合わせ、なぜその要望を提出するのか、限られた時間内で理解していただけるよう努力しました。

神戸市福祉局のかたにも、現状説明については非常に注意深く聞いていただき、ありがたく思いました。(要望内容は別紙参照)

ひとにやさしいまちづくり、ひとがやさしいまちづくり
第２期神戸市バリアフリー基本構想

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に「重点整備地区」「生活関連施設」「生活関連経路」のそれぞれに「バリアフリー法」の要件が設けられています。

神戸市の「第２期神戸市バリアフリー基本構想」策定の一環で、重点整備地区「三宮駅周辺」「名谷駅周辺」「垂水駅周辺」「西神中央駅周辺」の４地区の整備の先駆けに、父母の会も、各支部から数名の会員の参加者を募り神戸市福祉局、建設局および他局も交えた複数の職員と共に移動環境のバリアフリー化に協力し街を検証しました。その後も公共トイレに成人用ベッド、駅舎のエレベーター設置時のサイズの整備等、実証実験にも立ち合い今後の整備の改善に意見をのべました。

駅舎のエレベーター実証実験に立ち合いました

市社会福祉協議会理事長感謝受賞

令和５年９月７日（木）神戸市文化ホールで開催された神戸市社会福祉大会で、本部職員の神崎初美さんが、市社会福祉協議会理事長感謝を、永年勤続功労者の部門で受賞されました。

平成 23 年から、特にポニー教室の事務担当者として、お世話になっています。中部いこいの家や、『じゅうしん父母の会』が訪ねやすい場所と感じさせてくれる方で、会として９月の理事会でお祝いの花束を送りました。今後もよろしくお願いしたいと思います。

3つの事業のリーフレットが揃いました！！

昭和４２年に会として発足し、５７年目を迎えることができました。

神戸市重度心身障害児(者)父母の会の事業を会員以外の多くの方々に知っていただきたいという目的で事業部のリーフレットを作成し市内の重心児(者)を受け入れてくださっている事業所へ配布しました。

こういう環境があったらいいな、こういう手段があればできるかも

青少年事業部　井関宏美

本人の伝える力をどうやったら引き出せるのか、やりたいをできた！に変える為にはどうしたらいいのか、重度の障がいがあってもその子の可能性を引き出せる環境やサポートしてくれる人との出会いを大切にしたい諦めたくない、わが子に合う支援機器環境って誰に相談すればいいのか、支援機器に触れる場をもっと身近に欲しい。

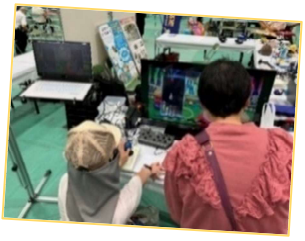
親のそんな思いに寄り添ってくれる㈱アシテック・オコ代表小林氏（作業療法士）のお力をお借りして、2023 年 10 月に神戸市北区にあるしあわせの村で開催された「こうべ・福祉健康フェア」にブースを出展させていただきました。㈱アシテック・オコさんは「本人が何をしたいのか、どうありたいのか」を一緒に考えテクノロジーと、障害のある人や病気の人とをつなぎスマートフォンやタブレット端末などを使って生活を楽しむのをサポートしてくれます。

福祉健康フェアでは様々な支援機器があるということ、様々な選択肢があるということを保護者や支援者の方以外にも障がいがあってもなくても一緒に楽しめるモノがあるという事を知ってもらう場となり、当日参加してくださった保護者の方から「参加してよかった」「こんな種類があるとは知らなかった」「情報が有難い」という声をいただき有意義な場となったと感じています。

機器に出会い、機器を使い続ける環境を整えるにはどうしたらいいのか、小林氏の評価によって我が家は劇的に生活が変わりました。自宅ではほぼ寝て過ごす娘からあれやって欲しい、これやって欲しいとその都度私は手を止めて娘の介助をしていましたが、パソコンを使って自分のやりたいゲーム機を操作して、自分の時間を過ごせるようになり「自分でできた」という達成感も感じることができ自信がついたように感じています。今までは「やりたい」でも自分だけでは「できない」という諦めも多く体験してきましたが、少しずつ「できた」を体験できる事は改めて大切だと感じています。

わが子だけではなく、必要とする人に早い時期から自分に合う機器に触れて「できた」という成功体験を積んでいってほしいなと強く思います。これからも身近での体験の場を大切に活動を継続していきたいと思っています。

「こうべ・福祉健康フェア」2023 年 10 月 1 日（日）



会員限定「成人を祝う会」開催
2023 年 11 月 23 日（木）

～参加者の感想～

先輩の成人後の生活のイメージやリハビリの移行先、相談支援事業所のことなどわからず不安でしたが、先輩方の経験談など色んなお話しが聞けてとても参考になりました。早め早めに行動して娘に最善の環境を用意できたらと思います。

50 年目のポニー教室

事業部　時本清子

「ポニー教室」は支援学校卒業後の貴重な動作訓練の場です。支援学校の先生方および有志の先生方のボランティアによる事業です。開始当初から今年で 50 年を迎えますが、来る令和 6 年 11 月 30 日(土)は「ポニー教室 50 周年記念行事」を企画しています。障害児(者)が支援学校卒業後の訓練の場が少ない事情は今も課題です。

じゅうしんマルシェ

事業部　山内　由香

会員と協力しあい皆様から寄付をしていただいた商品でマルシェの開催を実施しています。

先日のマルシェは４ヶ月ぶりの開催となり待ち望んでくださった方がオープン前からたくさん来られました。毎回、来てくださる方もいらっしゃいます。次回も楽しみにしているというお声もいただき大変ななかでも来場いただいた方との交流も楽しみの一つとなっています。売り上げも伸びつつあります。今回はじめての取り組みとして、あけぼの学園の利用者さんが作られた木工作品や、こども食堂をされている toiro さんの野菜やお米、GreenGreen さんのフィナンシェなど事業所の製品やこども達が育てた野菜の販売もしました。売り場がないというお声に少しでも会としてお手伝いができればと思っています。今後も事業所の商品を紹介・販売できると良いなと思っています。

コロナ禍で中止していた『愛のチャリティーバザー』が久し振りに３月開催されます。皆様のお越しをお待ちしております。

街歩きイベント

副会長　中川謙一

令和５年８月 19 日(土)神戸市からの呼びかけで「車椅子で街歩きイベント」に参加しました。

このイベントは約 50 名が参加し、5～6 名ごとの班に分かれ各班に車椅子が用意されました。それぞれの班が三宮中心部を歩きました。我々の班はミント神戸で食事をすることになり移動を始めました。歩道は車道側に傾斜しており真っすぐ進むことが難しく車道側に斜行しました。一方、大きな交差点では意外と段差が少なくスムーズに渡れました。「さんちか」は南北に傾斜があり、自走式車椅子では介助がなければ難しいです。その為、通行人に車椅子を押して欲しいと依頼すると気軽に協力してくれました。有難いことでした。ミント神戸のエレベーターは３台中１台は障害者優先の表示があるものの、気遣いしてもらえませんでした。マイク放送等でもっとアピールして欲しいと思いました。

尚、車椅子にて移動すると視界が低くなり周囲の人から威圧されている様に感じました。

東灘支部

支部長　新川由美子

重症心身障害児者の入所施設「ひだまり」がグループ見学できるようになってすぐの令和５年７月 27 日(木)に東灘支部の６名が、見学させていただきました。

交通量の多い国道の近くでも静かな環境、窓が大きく、廊下も広いので自然光の明るさが心地よかったです。ただ入所候補になるには厳しい条件があり、重症でも必ずしも受け入れてもらえないようでした。

７月の時点で、入所者 39 名、看護師・職員ともに毎日のリズムに慣れたら、徐々に人数を増やすとのことでした。

灘支部

支部長　藤田雅子

「古武道体操術」介護で凝っている体をほぐす方法を、講師を招いて学んでいます。
中央支部で行っている「古武道体操術」に参加して、これはもっと多くの人に知ってもらうといいなと思い、灘支部でも今年度取り組むことにしました。

体のどの部分をどう動かすか、骨のつくりから学び、体の内部からほぐします

年齢関係なく、障がいのある本人も一緒に自分の体をほぐしていける、介護しやすい体になる体操をしています。参加した方からは「階段上るのが楽になった」、「今までで一番体調がいい」、という声も。場所は東部在宅障害者福祉センター2階多目的室(JR灘駅南側すぐ)駅近くなので、他支部の方にも参加していただいております。

中央支部

支部長　小澤訓代

中央支部は、毎月第２日曜日に訓練会を、第４日曜日に古武道体操術をいこいの家で ZOOM 配信も使いながら続けています。

訓練会では、目的としてありのままの自分を表現するために生きる力を育む教育的アプローチ「新しいうんどう」を取り入れています。機能訓練のために作られたものではありませんが、生きる力を育てることによって、心身共に成長を図るものだそうです。

その他、グループホームや入所施設などの施設見学、神戸ポートミュージアム átoa（アトア）の鑑賞も実施しました。

支部活動

須磨支部

支部長　山内由香

令和５年５月にじゃがいも掘りに招待してくださった方から、さつまいも掘りの招待メールが届き、10 月 7 日(土) 4 家族で収穫体験をしました。

今回もいいお天気に恵まれ、心地良い風の中で、さつまいもを探しました。シルクスイートという品種です。みんなでワイワイ言いながら、ツルを目印にたくさん掘り起こすことができました。ツルを使って、リース作りもしました。１２月に飾り付けるのが、楽しみです。

緑の野菜もたくさん収穫。初めて聞くシカクマメ。調理方法も教えていただきました。
楽しい１日を過ごすことができました。

西支部

支部長　由良典子

令和５年６月に親睦会を行い、8 月「あいすくりーむの家」と 10 月「サポートハウスココロネ住吉」に見学に行きました。

今年度は会員さんのご希望をお聞きして、グループホームと重症心身障害児者入所施設の見学をすることが出来ました。グループホームってどんなところ？　入所施設って？

親が介護できなくなった時に備えて、障がいある子どもの居場所、終の棲家を模索しておきたいという親の想いを考慮しての見学会になりました。

一人一人障害も違うのでいろいろな想定の中で考えられるよう、制度のことや神戸市の施設一覧を「西支部だより第 2 号・3 号(全４ページ)」に書き留めて情報を発信しました。みなさんの参考になれば幸いです。

西支部だより　2023年11月 第3号

「サポートハウスココロネ住吉」見学に行ってきました！

10月27日(金)、中央支部と合同で見学に行ってきました。西支部からは６名、中央支部からは３名の参加でした。

2022年6月、神戸に3ヶ所目となる重症心身障害児者入所施設「サポートハウスココロネ住吉」が東灘区に出来ました。

灘区の山手に位置し、おおぞら学びは運が抜くて行けず、やまびこ号(8人乗り)を利用しました。西区の若神ヒは有料浴器を使って1時間の距離でした。

最初に渡される平成医療福祉グループは、聞き・聞き・聞き・聞取を中心に例記・介護施設を展開。「ココロ来居」などと障害のある方をサポートする病院・施設も運営されており、培ったノウハウを生かしておられました。

同じ敷地内に高齢者施設があり隣で繋がっています。職員は厳しく、余裕を持ったたさいあり、おいやれ感自慢がそうです。関係からもスタッフが派遣されることもあるようです。

サポートハウスココロネ住吉
〒658-0063
神戸市東灘区住吉山手7-1-1
☎078-858-7152

この施設の利用対象は、身障手帳1種1級と療育手帳A判定の所方を持っている方。
医療ケアもある方も受け入れが可能です。

サービスは、「入所」「短期入所」「生活介護」「放課後等デイサービス」「外来」。

<入所>各西に個室6部屋、4名浴場が21部屋あり、2階3階合わせて全部で100床。そのうち空床利用型で5床が短期入所。現在入所人数は35名。利用者増えればスタッフの充足もあるそうです。1日1回は散歩。

<生活介護>利用定員は20名ですが、まだ十分空きがあります。こちらも利用者が増えればスタッフを充足。送迎は片道30分圏内に限る。医療的ケアはもちろん、リハビリや入浴も可能。

<放課後等デイサービス>利用定員8名。こちらも十分空きがあります。学校～事務～自宅まで送迎をされています(30分圏内)。生活介護と放課後等デイサービスの施設には、利用者が楽しくなるようにハロウィンの飾り付けがされていました。

中央支部の皆さんと一緒にパチリ！！

丁寧な説明と見学の時間をさいていただき、ありがとうございました！！

◇◇◇お知らせ◇◇◇

バザー商品の提供をお願いします！

・『**愛のチャリティーバザー**』

日時：令和６年３月３日(日)　午前１０時～１５時

会場：兵庫区役所２階　みなとがわホールで開催します。

＊神戸ルミナリエ＊

開催期間　：　2024 年 1 月 19 日（金）～ 1 月 28 日（日）

点灯時間　：　薄暮　～ 21:30　（※時間変更になる場合あり）

例年の会場である旧居留地や東遊園地に加え、新たにメリケンパークには有料エリアがあります。

◇◇◇会員・賛助会員の動き◇◇◇

◇◇◇ご寄付者◇◇◇

ありがとうございました

（団体）：公益財団法人　神戸新聞厚生事業団　様

日本キリスト改革長老　岡本契約教会　様

（個人）：実光久子　様　　井上貴由　様　　河知美代子　様

【お願い】

※書き損じの官製はがきを「じゅうしん父母の会」へ提供してください。

※父母の会事務所(いこいの家)の開所時間は、９：３０～１６：００としています。

お電話によるご連絡又はご来所については、できる限り

『１０：００～１６：００』の間にお願いします。

今年もよろしくお願いいたします

編集後記

当会の紹介と事業を周知していただくために３つのリーフレットが揃いました。改めて私たちの役割を再確認しました。行政に働きかけ協働していくことも大事な役割ですが、当事者同士がつながり、お互いに支えあい、必要な人に情報を届ける、そこも大事にしていきたいと思います。

昨年から森岡毅さんの「苦しかったときの話をしようか」を読んでいます。経営難に陥った USJ や丸亀製麺、ネスタリゾート神戸をＶ字回復させたマーケターの方です。この本は大学生の娘さんに向けて書かれた本で「君の“強み”は必ず好きなことの中にある！」とあります。好きなことの見つけ方は、「～すること」という「動詞」を書き連ねていくとよいそうです。好きなことを自分の強みに変えられるような１年になるといいですね。皆様にとって良き１年になりますようにお祈りいたします。

N.Y